

伴野城跡改造計画 441

守り籠る空間から、繋がり広がる空間へ

城とは敵の侵攻を防ぐための軍事基地であり、攻めずらい城を建てることは敵の侵攻意欲を削ぐことと同義である。500年ほどたった今、防ぐための建築の名残である城跡が全国各地にそのまま広場として残っている。はたして、この約500年前のGLは現代に適しているだろうか。GLを再構築し直すことで現代に合う城跡改造計画を考える。

